

ゆんたくひろば

2011年11月13日発行

VOL.34

～発行～

琉球國祭り太鼓
東京支部事務局

〒208-0031
東京都武蔵村山市岸3-5-24
<http://mdtokyo.net>

琉球國祭り太鼓東京支部



15周年記念公演「ゆがふ」のお知らせ

もうすっかり秋めいてまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

さて、私たち琉球國祭り太鼓東京支部は、今年で結成15周年を迎え、皆様にとさらなる感動をお届けするために日々精進しております。

そして、結成15周年にあたり、皆様に感謝の気持ちを込めて来年1月15日の日曜日、練馬区立練馬文化センターにて記念公演を行うことになりました。

東京支部では、その時の節目の年に、その時の最高のパフォーマンスをお届けするべく公演を行ってまいりました。そして、今回15年の節目となる本年、今現在の私たちの最高のパフォーマンスをお届けし、日々支えていただいている方々へ恩返しをするために今回の公演を企画いたしました。

メンバー一同感謝の気持ちを持って、最高の感動をお届けいたしますので、年初めでご多忙のこととは存じますが、皆様お誘い合わせの上ご来場をお待ちしております。
よろしく願いたします。

東京支部長 越川 一宏



2012年1月15日(日)
練馬区立練馬文化センター
つつじホール
(西武池袋線練馬駅北口徒歩1分)
昼の部 開場 12:00 開演 13:00
夜の部 開場 16:00 開演 17:00
前売り 2000円 当日 2500円
(全席自由)

チケットのご購入は
yugafu@mdtokyo.net にて受付しております

または、
銀座わしたショップ (東京都中央区銀座 1-3-9)
練馬文化センター窓口 (東京都練馬区練馬 1-17-37)
でも販売しております。(事前予約不可)

みなさまのお越しをメンバー一同
お待ちしております！！

(財)練馬区文化振興協会 演劇芸術文化後援会
琉球國祭り太鼓東京支部
15周年記念公演
ゆがふ
2012年1月15日(日)
練馬区立練馬文化センター
つつじホール
(西武池袋線 練馬駅北口 徒歩1分)
昼の部:開場12:00 開演13:00
夜の部:開場16:00 開演17:00
お問い合わせ: yugafu@mdtokyo.net
上記のメールアドレスからチケット購入をメールにて行っております。
前売り券は練馬文化センター窓口でも購入できます。(電話予約不可)
琉球國祭り太鼓東京支部 ホームページ: <http://mdtokyo.net/>

前売り 2000円
当日 2500円
全席自由



2010年
12月31日
紅白歌合戦
(NHKホール)

私達は、第61回NHK紅白歌合戦にて、HYさんと共演させていただきました。最初、この話を聞いた時、とても驚きました！まさか自分たちがあの紅白歌合戦の舞台に立てるなんて、本当に夢のようでした。

共演させていただいた曲は『時をこえ』という曲です。この曲は、戦争を体験したおじーやおばーの話を、私たち戦争を知らない世代が同じ過ちを繰り返さぬよう、時をこえて語り継いでいきたい想いをのせた曲です。



出演前の控室。
心をひとつにがんばるぞ！

また、本番はいつもお世話になっている琉球舞道場さんも一緒に踊り、紅白歌合戦の舞台に沖縄の風を吹かせてきました！
命の尊さを歌ったこの『時をこえ』。そんなHYさんの思いを、少しでも太鼓で後押しできていたら幸いです。

HYの皆さん、そして琉球舞道場の皆さん一生思い出に残る舞台をありがとうございました。紅白歌合戦で『時をこえ』を叩かせていただいた団体として、これからも精進していきます。

(富田 鎮多)



→ 約4分間のステージを
無事に終えることができました。



2010年
12月31日
カウントダウン
ジャパン
(幕張メッセ)

Coccoさんとの初めての出会いは『ニライカナイ』のPV撮影の時でした。たまたま、撮影が行われる数ヶ月前に上京をしていた事で撮影に参加させていただける事になり、その時にはカウントダウンライブと一緒に共演させていただけるなんて思いもしませんでした。



↑本番前の真剣リハーサル中

当日、会場の幕張メッセでのリハーサルでは、場所の確認や動きの流れを通したりするのみだったので、本番が始まった時の人の多さ、照明や音響の迫力、どれをとっても感動を覚えるもので、自分自身がプロのアーティストと一緒に共演させて頂いていると実感する瞬間でもありました。

上京して1年目、2010年の締め括りの1日を絶対に忘れることはありません。私にとっての大切な1日を下さった事に心から感謝しています。

(與那嶺 佑太)



当日の観客動員数は36000人でした！！



2011年
1月29日
「舞い、踊る
獅子たちⅢ」
(国立劇場)



2011年1月29日。紅白歌合戦の興奮も冷めやらぬ間に、国立劇場にて出演させていただきました。

国立劇場といえば、日本のカーネギーホールとも言われ、由緒ある劇場で日本の伝統芸能やその継承者の養成や調査研究も行うところなのです。

10数年前にも出させていただいた国立劇場ですが、今回は「舞い、踊る獅子たちⅢ」と題された公演で、中国、四国、九州の獅子舞の披露がありました。

私たち琉球國祭り太鼓は、全国の支部からメンバーが集結し、獅子舞、蓬萊エイサー口説(くどうち)、鳥刺舞(とういさしめ)、年中口説、ミルクムナリを演舞しました。

獅子舞は今回のために日出克さんが書き下ろした「天の舞」という曲に乗せて演じましたが、本島のメンバーが演じる獅子舞は動きが激しく迫力があり、本当に生きているみたいにかっこいいです!!

そして蓬萊エイサー口説では獅子とエイサーが共に入場し邪気を祓い、鳥刺舞では獅子と沖縄の民族楽器「三板(さんぱん)」を使った斬新な舞いを披露しました。

国立劇場の舞台に立てることは滅多に出来ない大変ありがたい事です。

今回もまた、貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

(高江洲 仁)



↑ 沖縄、関西、関東のメンバー総勢 40 名 + 獅子 5 頭での演舞となりました。



↑ 東京支部メンバーと獅子



→ 全国から集まった他支部メンバーと



メンバー募集

沖縄人(うちなーんちゅ)や沖縄が好きな人・お祭り好きな人
16~28歳の健康な男女でやる気と体力のある人
練習やイベントに積極的に参加できる人
会費: 1ヶ月 500円
スポーツ保険: 1年間 1600円
練習は不定期で週に2~3回、夏季はほぼ毎日あります。
土日・祝日の多くはイベント出演となります。

・・・練習見学のお申し込み・お問い合わせは・・・
info@mdtokyo.net までお気軽にご連絡ください。



2011年
6月18日19日
東日本大震災慰問
(宮城県石巻市)



関東のメンバーを中心に、沖縄や国内の他の支部のメンバーと宮城県の避難所へ、慰問の遠征に行きました。東京支部からは、私だけだったので、ジュニアメンバーの中学生の息子と、ボランティアとして高校生の娘と一緒に連れての参加でした。夜に東京を出発し、7時間かけて石巻に到着。

途中、道路のヒビはあったものの、高速を降りた辺りはのどかな風景でした。

しかし、市内に入った瞬間、凍りつくような風景が目に見え込んで、胸がつまりました。



地震から3ヶ月

まだ残酷な町並みのままです

最初の避難所では、津波でデコボコになったままの校庭で演舞させていただきました。

校舎の窓からは、3ヶ月そこで生活している方々が、校庭では、自衛隊やボランティアの方々も、私たちの演舞を見てくださいました。

2回目は、同じ小学校の体育館での演舞。体育館の壁の上の方には、水が押し寄せた跡がまだくっきり残っていました。

舞台の下には、泥や、流されてきた瓦礫がまだ残っていました。

地震直後にその復旧にきた私の友人の話では、地震直後は、まず体育館に何十センチも積もった泥を掻き出すことから始めたと言いました。

また、気仙沼で、間一髪で津波を免れた親友も見に来てくれたので、生きて逢えたことが本当に嬉しくて、抱き合いました。

親友が逃げた直後に、会社のビルが目の前で流されたそうです・・・

そして2ヶ所目の避難所では、体育館で避難生活する方々が校庭での演舞を見てくださいました。

少しでも、励みになればと訪れた私たちでしたが、今も、不自由な生活が続いている被災地の方々の、生きていこうというパワーは、本当に力強く、逆に私たちがパワーをいただいています。

仙台へ移動する途中海沿いの地域を通りました。まだ、家のほとんどが土砂で埋まっています。店舗の一階は、かろうじて柱だけ、駐車場には、現実とは思えない状態の車両の塊・・・

ショックな光景でした。

2日目は仙台的避難所と多賀城の避難所で演舞しました。この避難所の周りは津波の後はありませんでしたが、自宅を被災して生活



している方が沢山いたり、保護されている犬もいました。

こちらでの演舞も、とても喜んでいただき、私たちも少しでも早い復興を願いながら叩かせていただきました。

演舞が終わって帰り道、仙台空港の方に寄りました。あの時見た景色は、一生忘れることはできません・・・

海岸は遥か何百メートルも彼方ですが、見渡す限り何もありません・・・

あるのは、倒壊した工場のタンク、押し流されてスクラップになった車の山、そして、そこで生活していたであろう形跡・・・

記録映像で見た戦後の姿にも似ていました

この中にもまだ見つけてもらえてない方がいるかもしれないと思うと、言葉が出ませんでした。自然の力の偉大さ、恐ろしさを見せつけられました。この災害では、復興までまだまだ時間がかかります。

私たちにも何かできることがあるはずですよ。

太鼓を通して、パワーを分けあったり、復興に少しでも協力できるようにしていきたいです。

今こそ「ゆいまーる」
沖縄の言葉で、助け合いと言う意味です。

これからも、沖縄の文化を通じて、日本の復活を一緒に考えていきたいです。

(中野 恵美)

デビュー しました！！

私たちは、「プロの意識を持つアマチュア
集団でありたい」と考えています。

できる限り良い演技を見ていただきたいと
の思いから、日々練習を積み重ねています。

新しくメンバーに加わった新人は、まず太
鼓を叩く基本動作である「バチまわし」から
始めます。その後、「足上げ」という足の基
本動作を加えて練習します。

基本形が出来上がって初めて曲の練習をす
ることが出来ます。

東京支部でよく利用する5曲を基本曲と呼
び、基本曲すべてのテストに合格して初めて
皆様の前に『デビュー』することが出来ます。

『デビュー』までは早くても数か月、中
には一年以上かかるメンバーもいます。

もちろん、ジュニアメンバーも同じです。
このページでは日々の努力が実り、めでた
くデビューを果たしたメンバーを紹介いたし
ます。



2010年3月に念願の打ち手デビューをする事
ができました。衣装を来て太鼓を叩いたデ
ビューイベントは本当に嬉しくて、、
一生忘れられません！！

ご指導いただいた先輩方や支えてくれた仲
間がいたからこそデビューできたんだなって
思います。ありがとうございます！
太鼓とっても楽しいです♪

これから、たくさん演技を覚えて見てくだ
さる方に楽しんで頂けるような打ち手になり
たいです。日々の練習を大切に、頑張りませ
う！
よろしくおねがいします。
(宮城 成子)



一般公募の一期生として入り今はメンバー
の一員として頑張っています。ところが、
理想と現実では違いました。それは練習の厳
しさです。

バチまわし、足上げなどの細かいチェック
があるとは思いませんでした。(日頃使わな
い筋肉も鍛えられますが) テストを受け落ち
ると断念しようかなと思った事もありまし

た。でも今ではその厳しさにも耐えアビ
ューを果たす事ができ本当に嬉しく思います。
これからも頑張っていきたいと思ひますので
応援宜しくお願いします。
(海老沢 徹)



2010年8月にデビューをしました。

体も固く、不得意なところがたくさんあり、
デビューまでには長い時間かかりましたが、
ようやく憧れの舞台上に打ち手で出れるよう
になり不安、期待をもちイベントにでていま
す。元気を与えるパワーは誰にも負けません!!
一人でも多くのかたに元気、感動を与えて
あげたいと思います。

これからもいろんな曲を覚え、率先力とな
れるメンバーになりたいと思います。
(江頭 佳子)

圧倒的なフォーマンスの前では、心が震え、
この瞬間がずっと続くといいなという気持ち
になる。街のお祭りで偶然見かけた、祭り太
鼓の笑顔の演舞。

とても楽しい曲(後ほどりんけんバンドさ
んの「年中口説」と知る)だったのに、なぜ
かじわつと涙があふれたことを今も忘れな
い。夢は演じ手とお客さん、そこにいるみん
なが笑顔で共有できる幸せな瞬間を作り出す
こと。

これまでのすべての出会いに感謝です！
(津田 優子)



現在、東京支部では9名のメンバーがデ
ビューを目指して練習に励んでおります。
皆様の応援、どうぞよろしくお願ひいた
します!!
福田 真、中野 明日香、有安 麻保子、戸田
晏里、齋藤 清子、中野 雅人、井上 真弥、
原田 明、知花 舞



復帰しました！

2009年4月末にデビューして1年もたたないうちに、仕事の都合で2年間、ローマで生活することになりました。

慣れない外国生活もようやく終わり、久々の練習に参加したものの、2年間のブランクはさすがに大きく、体中が筋肉痛で悲鳴を上げています。こんなはずではなかったのに……。

見に来てくださったお客様の前で、また力いっぱい、元気にたたける日を目指して練習中です。

(吉田 圭介)



今後のイベント

各イベントの詳細につきましては東京支部ホームページ (<http://mdtokyo.net/>) をご覧ください。



砂川 奈巳乃 (宮古支部から)



渡真利 美穂 (宮古支部から)



砂川 亜美子 (宮古支部から)



與那嶺 佑太 (西原支部から)

移籍しました！

琉球國祭り太鼓には国内に29の支部、海外に10の支部があり、総勢1500名ほどのメンバーが活動しています。進学、就職、転勤などの都合により他支部から東京支部に移籍したメンバーを紹介します。どうぞよろしくお願いたします。



高田 英梨紗 (福岡支部から)



高田 由利香 (福岡支部から)



高田 寛士 (福岡支部から)



加藤マルセロ敏 (ブラジル支部から)

編集後記

今年もあつという間にもう11月！記念公演まであとたった2ヶ月となつてしまいました。直前になつてからドタバタならないようにしようね！と演技合わせ、演舞員の作成などメンバー一同せっせと準備中です。良い公演になるよう頑張つてますのでみなさん是非見に来て下さいね！
(米山 敬吾)

～寄付のお願い～

いつも私たち琉球國祭り太鼓東京支部の活動を応援していただき、誠にありがとうございます。おかげさまで今年創立15周年を迎えることができました。今後も様々な活動を通して、沖縄の文化・芸能を広く伝えていきたいと、メンバー一同練習に励んでいます。しかしながら、私たちはアマチュア団体でありますので、運営資金のやりくりには非常に頭を悩ませております。大変恐縮なお願いではございますが、運営資金のご寄付を募っております。

皆様のあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行 記号 10130 番号 69722791
口座名義 琉球國祭り太鼓 東京支部

